

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

安心安全な教育環境を保護者や地域の方とともに作り、生徒に確かな学力などの社会生活で役立つ能力を育成する学校をめざす。

- 1 自己実現のために、全教育活動を通して「確かな学力」などの社会的実力を育む (目標のあるキャリア教育)
- 2 人権尊重の精神に基づく安心安全な学校生活のなかで「生きる力」を育む (自他を大切にできる意識と力の育成)
- 3 保護者や地域との充実した連携と協力を図りながら教育活動を行う (地域社会と協力する「開かれた学校づくり」)

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力などの社会的実力の育成

(1) わかりやすく魅力のある授業づくりをめざす。

- ア 主体的・対話的で深い学びを実現するために、「SN 勉強会」を中心として観点別学習状況評価の手法を活用した授業改善に取り組む。
- イ 授業観察・授業アンケートなどに加えて1人1台端末等 ICT の有効活用により、具体的な改善点を確認研究し、授業力の向上を図る。  
※授業アンケートの教員平均評定の向上 令和6年度には3.4以上をめざす (R1:3.13、R2:3.28、R3:3.34)  
※令和6年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「教え方を工夫した授業」の肯定的評価60%以上をめざす。

(R1:46.4%、R2:56.4%、R3:59.8%)

(2) 生徒の多様な進路実現に向けて、組織的な取り組みを行う。

- ア 生徒が目標とする進路を実現できるように、関連情報環境を整備し、基礎学力重視の補習、発展的な進学講習などを充実させる。
- イ 「体育・芸術創造コース」などキャリアを形成する本校の特色ある教育活動を発展充実させて、社会的な実力の育成を行う。  
※令和6年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「進路や生き方について学ぶ機会」の肯定的評価85%以上をめざす。

(R1:70.6%、R2:75.9%、R3:83.6%)

## 2 安心安全な学校生活を通しての生きていく力の育成

(1) 生活指導の充実を図り、生活習慣の確立と規範意識向上、感染症等の防止対策に向けた取組を推進し、個々の生徒への支援体制を整備充実させる。

- ア 生活指導を通して、必要なモラルやマナーを身につけることの大切さを意識させることにより、社会生活に必要な力を育成する。
- イ SC を活用した養護教諭・教育相談委員会の取組により、相談機能を活発化して、個々の生徒への支援体制を充実させる。  
※令和6年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「社会のルールについての学び」の肯定的評価72%以上をめざす。

(R1:58.1%、R2:68.2%、R3:71.5%)

(2) 人権尊重の意識を育て、特別活動等への主体的参加を促進することで自己肯定感を養う。

- ア 様々な人権問題に関する正しい理解を深めることで人権感覚を養い、自他を尊重する教育を総合的に推進する。
- イ 特別活動や部活動などを通して、楽しく充実した学校生活を送ることで自己肯定感を育てる。  
※令和6年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「学校行事への積極的参加」の肯定的評価80%以上をめざす。

(R1:70.8%、R2:79.8%、R3:79.8%)

## 3 教職員の働き方改革の推進

(1) 教職員の業務内容に関する合理化を図ることで、働き方に関する改革を進めていく。

- ※時間外勤務に関わる産業医との面談が必要な教員数を令和6年度には10名未満になることをめざす。(R1:13名、R2:12名、R3:10名)

## 4 保護者・地域と協力した学校づくり

(1) PTA 活動を充実させ、地域との交流を部活動、学校行事、貢献活動などを通して充実させる。

- ア PTA 行事参加、「西高カップ」、地域イベントへの貢献、泉北高等支援学校との授業交流等を発展継続させる。

(2) 取組を PTA 新聞、校長ブログ、学校説明会などを通して広報することで、保護者や地域の本校教育活動への理解を深める。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【自己診断全般について】 ○生徒に関しては8割以上の項目で肯定的評価が上昇した前回に続き、今年度も5割以上の項目で肯定的評価が上昇した。保護者に関しては、肯定的評価が下がった項目が多い。コロナ禍の中でも可能な範囲で本校の特色に基づいた教育活動を模索し、実現実施に取り組んできたが、公開性の点での制限が長引いていることについて、コロナ禍終息の折には改善を図る必要がある。</p> <p>【生徒の回答から】 ○生徒の学校生活のあり方の中心的な指標となる「学校の楽しさ」項目で高い肯定値88.2.0% (前年比2.2p↑) を示している。コロナ禍にもかかわらず、この3年間で7p以上上昇したことになるので、本校教育活動の基本的な方向性に誤りはないと考えられる。 「部活動の活発さ」項目肯定値90.7% (0.9p↑3年間で11p上昇) に代表されるように、感染防止対策、様々な制限をしながらではあるが、特別活動等を通して生徒に様々なコンピテンシーを身につけさせるという本校教育活動の特色を推進した成果は出ている。ただし、「学校行事の企画性」項目に関しては肯定値66.5.7% (5.2p↓) となっているので、コロナ禍終息後における企画面での行事のあり方を検討する必要がある。</p>	<p>【第1回学校運営協議会 (令和4年6月24日)】 対面実施 (学校経営計画の内容及び教育活動に関わって)</p> <p>○学校経営計画は昨年度に内容整理、刷新されてわかりやすくなってから2年目になるが、これからも堺西高校の特色が出るように内容実現をしっかりと図ってほしい。</p> <p>○教員対象研修会の SN 勉強会で ICT の効果的活用をテーマにしているが、こちらにもわかには理解が難しいようなところが出てきていて、学校を取り巻く環境は大きく変わってきたと感じている。</p> <p>○Wifi 環境について、各教室や体育館などに整備されたのはよかった。</p> <p>○生徒の1人1台端末配備は良かった。保管については大丈夫かという心配はある。活用の充実を図ってほしい。その一方で教員各自に同じ規格の ICT 端末が与えられていないというのはいかがなものかと思う (注: 年度中にこの課題は解消されている)。</p> <p>○生徒が自宅でオンライン授業を受ける体制がとれていることはよかった。自宅に Wifi 環境がない場合は申し出れば対応可能だという点も了解した。</p> <p>○学校行事に関して、修学旅行は必ず生徒に行かせてあげたい。</p> <p>○地域連携に関しては、夏祭りが今年も開催できない見通しだ。地元としてもイベントの完全復活は困難だと感じている。コロナ禍を機会に地域も変わっていかねばならないと考えている。そのうえで、学校と連携していきたいと思う。</p> <p>○学校として観点別の評価についての説明はしているだろうか。生徒は小、中ですでに経</p>

<p>○授業に関しては、「わかりやすさ」項目で大幅に肯定値が上がった(7.4p↑)。この3年間で10ポイントを超えて上昇しており、本校の授業改善目標の定着が見られる。ICTの活用が一定進んでいることなどを反映して「工夫」項目では肯定値64.9%(5.1p↑)となっている。この結果を受けて、教員研修会などの継続実施などにより、授業改善への取組みを推進していきたい。</p> <p>【保護者の回答から】</p> <p>○「教育方針の理解共感」については平均的肯定値73.3%(1.8p↓)となった。3年間で見ると4ポイント上昇しているため、近年では一定のご理解は得ていると思うが、学校教育に対する社会風潮の変化に即した開かれた学校づくりを推進することで、よりこの点での肯定度があがるような教育活動をしていきたいと考えている。</p> <p>○「保護者の行事などへの参加」の項目については38.8%(6.7p↑)と肯定値は上がっているが、コロナ禍以前に比べるとまだ低い。さらに感染症関連の状況が落ち着いたら、公開性を高めるなどして、より以上の数値の改善を図りたい。</p> <p>【教職員の回答から】</p> <p>○強く改善を進めてきた「役割分担」(9.6p↑)項目はこの2年間で20ポイント以上上昇した。さらに強化を図ったSN勉強会の取組みを反映した「校内研修組織体制」関連項目は一挙に23.6ポイント上がった結果、この2年間で約36ポイントの上昇を見せている。一方で、もともと高かった行事工夫に関する項目や校内清掃関連項目などでポイントが下がっている。コロナ禍終息後の公開性の高まりに備えて、改善に取り組みたいと考えている。</p>	<p>験してきていると思うが。実技ならばわかりやすいのだが、主体性をはかるのが難しいと思う。数値だけでは評価できない部分もあると思う。</p> <p>○スクールミッションのサイクルが10年というのは長い。大学ではすでに作成してきているので思うのだが、いいところもあるが、難点もある。秋に報告を受けることにしたい。</p> <p>【第2回学校運営協議会(令和4年11月25日)】対面実施 (授業観察講評と「スクールミッション」に関して)</p> <p>○体育のダンスについては皆で楽しく取り組んでいたと思う。</p> <p>○日本史の授業では授業者がとてもうまく説明をしていた。</p> <p>○物理基礎でのプロジェクタを用いての説明はわかりやすかった。</p> <p>○それぞれの授業をフルでは見ていないのだが、全体的に生徒に考えさせる場面についてはどうなのだろうか。おそらくしていたと思うのだが、今後さらに考えさせるような授業をしてほしい。</p> <p>○スクールミッションに関しては、わかりにくいところは改善してもらえればと思う。堺西高校独自の特色がでるような言葉を使うことも考えたらどうだろうか。</p> <p>【第3回学校運営協議会(令和5年2月17日)】対面実施 (学校教育自己診断による今年度の教育活動の振り返りと学校教育経営計画に関して)</p> <p>○家庭での学習時間が少ないので確保のための方策を考える必要がある。教科の特徴もあるだろうが、宿題の出し方など検討してみればいいと思う。</p> <p>○親の立場からみても、子どもは学校を楽しみにしている。ただ、学校での出来事についての会話や学校からの連絡などがおぼつかない悩みは多くの保護者が持っているため、どうにかならないかと思う。</p> <p>○生徒の活動を数字で測りすぎると自主性が育たないのではないかと。自分で考えることのできる人間を育てることも大切だと思う。</p> <p>○働き方改革に関しては、難しいのだけれども、業務の削減を大胆にすることが必要になると思う。</p> <p>○今年度、来年度の学校経営計画の内容は承知した。引き続き、特色のある学校づくりに取り組んでいただきたい。</p>
---	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 確かな学力などの社会的実力の育成	(1) 教え方を工夫した授業づくりの推進 ア 本校にふさわしい授業の検討	(1) ア 本校生徒の実態をふまえたうえで、引き続き学習内容がわかりやすくなるような授業のあり方の検討を「SN勉強会」を中心に行う。	ア ・年間2回の授業アンケートで平均評定3.35以上 [3.34]  ・SN勉強会の全校規模での取組事業2回以上の開催(研究授業など) [1回]	ア ・2回の授業アンケートの平均評定は3.35であった。魅力ある授業づくりに引き続き取り組んでいきたい。(○)  ・SN勉強会の開催回数は3回で、6月、12月、2月に行った。内容は教育活動におけるICTの効果的な活用である。(○)
	イ 具体的な授業改善への取組	イ 効果的な場面での1人1台端末を中心としたICT機器の活用、「アクティブ・ラーニング」の視点に基づく学習活動などの導入を図るなどを行う。そのことを通して、工夫ある教科指導による授業づくりに取り組む。	イ ・生徒対象学校教育自己診断「工夫のある授業」の肯定的評価60%以上 [59.8%]  ・生徒対象学校教育自己診断「1人1台端末等ICT機器活用」の肯定的評価60%以上 [—]	イ ・生徒対象学校教育自己診断「工夫ある授業」の肯定的評価は64.9%だった。教員に授業改善意識の高まりが見られた。(○)  ・生徒対象学校教育自己診断「1人1台端末等ICT機器活用」の肯定的評価は62.9%だった。リーディングGIGAハイスクールの指定を受け、さらに活用に取り組んでいきたい。(○)
2 安	(2) 進路実現に向けた組織的な取組の充実 ア 進路と生き方について学ぶ機会	(2) ア 難関大学に挑む生徒向けの進学講習、外部講師等による進路説明会の実施や就職のための面接指導など、自己の進路と生き方について考えさせながら、個々の生徒の希望に応じたきめ細かな進路指導を行う。	ア 生徒対象学校教育自己診断「進路や生き方について学ぶ機会がある」の肯定的評価84%以上 [83.6%]	(2) ア 外部会場での独自説明会に取り組むなど、工夫をしたが、生徒対象学校教育自己診断「進路や生き方について学ぶ機会がある」の肯定的評価は83%だった。本校生徒の多様な進路希望を把握し、変化する社会状況に即応した進路指導をしていく。(△)
	イ 特色ある教育による実力を持った社会的人材の育成	イ 大阪万博開催を意識して、キャリア教育の観点をふまえたパフォーマンス成果発表機会(例「アートスタジアム」)を設けて、コース授業における取組を促進する。	イ 「体育・芸術創造コース」生徒によるパフォーマンス発表機会を年間で2回以上設ける。	イ 「体育・芸術創造コース」生徒によるパフォーマンス発表機会は梅文化会館11月開催「アートスタジアム」、体育大会集団行動、ラストコンサートなど、複数回実施し、コース授業における取組を促進できた。(○)
	(1) 規範意識の向上と支援体制の整備充実	(1)	(1)	(1)

## 府立堺西高等学校

<p>心 安 全 な 学 校 生 活 を 通 し て の 生 き て い く 力 の 育 成</p>	<p>ア 規範意識などの社会生活に必要な力の育成</p> <p>イ 個々の支援体制の充実</p> <p>(2) 人権問題の理解と自己肯定感の養成</p> <p>ア 人権問題理解による自己尊重教育</p> <p>イ 特別活動等を通しての自己肯定感の育み</p>	<p>ア ・社会生活で必要となるマナーやルールを守るという規範意識を育むために、身だしなみ指導や遅刻指導、交通安全指導などを行う。</p> <p>・自分の健康のみならず他者の健康も守らねばならないという意識を育み、感染症防止対策などの健康安全行動に取り組ませる。</p> <p>イ 「いじめ」事象などが起こった場合に、個々のケースに迅速に対応できる能動的な支援組織の確立を図るために、マニュアル等を整備し、SCやSSWを活用した教育相談体制を充実させる。</p> <p>(2)</p> <p>ア 差別等で苦しむ人々がいるという事実についての認識を養いつつ、自分と他者を大切にす精神を育むために、様々な人権に関する課題を取りあげたLHRなどを実施する。</p> <p>イ 他者とともに課題の達成に至ったよるこびや有用感、自己肯定感を養うために、本校の大きな特色である部活動や行事の盛んさ、活発さをいっそう発展充実させる。</p>	<p>ア ・生徒対象学校教育自己診断「社会のルールについての学び」の肯定的評価は70%以上 [71.5%]</p> <p>・年間遅刻数 1500 件未満 [1586 件]</p> <p>・健康チェックを欠かさずに行い、感染症等防止対策等を促すプリントを相応しいタイミングで10回以上配付する。 [9回]</p> <p>イ 教職員対象学校教育自己診断「学校の教育相談体制の整備」の肯定的評価70%以上 [64.8%]</p> <p>(2)</p> <p>ア 生徒対象学校教育自己診断アンケート「人権関連」の肯定的評価72%以上 [71.5%]</p> <p>イ 生徒対象学校教育自己診断アンケート「学校行事への積極的参加」の肯定的評価80%以上 [79.8%]</p>	<p>ア ・生徒対象学校教育自己診断「社会のルールについての学び」の肯定的評価は76.1%だった。きめ細かい生徒指導をこれからも行っていきたい。(◎)</p> <p>・年間遅刻数は1386件であり、昨年度から相当減少させることができた。生徒指導部と学年団との連携の成果だと考えている。(◎)</p> <p>・保護者宛というかたちで月替わり、長期の休み前、年明けなど、特に注意喚起の必要のあるタイミングで感染症防止呼びかけ文書を計12回配付した。別に保健福祉部より「ほけんだより」を13回配付した。(○)</p> <p>イ 教職員対象学校教育自己診断「学校の教育相談体制の整備」の肯定的評価は78.3%と大きく上昇した。大学院生のSC活用など相談機会を増やす等の改善工夫の成果が表れたと考えている。今後はSSWの活用機会なども増加する見込みなので、体制のさらなる充実を図りたい。(◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア 生徒対象学校教育自己診断アンケート「人権関連」の肯定的評価は76.1%だった。多様性を認め合うことの大切さに必要性の高まりに即して、引き続き自他を尊重する人権教育に取り組んでいきたい。(○)</p> <p>イ 生徒対象学校教育自己診断アンケート「学校行事への積極的参加」の肯定的評価は79%だった。コロナ禍、校舎大規模改修工事実施などによる行事内容の制限が目標達成の壁となったので、これらの終息終了を受けて、行事等への積極的参加意識を高めたい。(△)</p>
<p>3</p> <p>教 職 員 の 働 き 方 改 革 の 推 進</p>	<p>(1) 教育活動とのバランスに配慮しながらの校務の合理化による働き方の改革</p>	<p>(1)</p> <p>本校は多様な教育活動をそれぞれ全面的に推進する全人教育を特色としてきた。そのため一人の教員が担う業務も多岐にわたっている。そこで、業務内容を生徒などの実態に即して教育活動に必要な度合いに分けて、整理したうえで、業務量の検討を通しての精選と簡素化、組織体制の強化を進める。その対策を産業医と連携して図ることにより、働き方を見直し、労働時間の適正化を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>長時間にわたる時間外勤務に関わって、産業医による面談が必要な教職員の数を年間で今年度よりも減少させる。 [10名]</p>	<p>(1)</p> <p>産業医による面談人数は15名となっている。管理職からの退勤を促す声かけなども頻繁に行っていたが、教員数の減少、本校の新規事業への取り組み、コロナ禍制限の緩和による教育活動再活発化などが重なったことが増えた原因ではないかと思われる。現在、継続して業務内容の洗い出し、見直しを進めており、情報連絡の電子化、一斉休日日のさらなる徹底等を行うことにより、働き方改革を推進し、課題解決を行いたい。(△)</p>
<p>4</p> <p>保 護 者 ・ 地 域 と 協 力 し た 学 校 づ く り</p>	<p>(1) PTA 活動の充実と地域との交流</p> <p>ア PTA 参加や地域交流の活性化</p> <p>(2) 広報活動による本校教育に対する理解の促進</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・保護者と連携した教育活動の一層の促進を図るために、PTA の西高祭等行事への参加、PTA 主催社会見学などの活動の充実を行う。</p> <p>・地域と連携した取り組みを計画し、イベント等への参加などの要請があれば、積極的に協力して交流を図ることで、本校の教育に協力していただく。</p> <p>(2)</p> <p>機会あるごとの校長ブログの更新、生徒が活躍する学校説明会の開催、HP 記事による教育状況の連絡、アートスタジアムなどの行事やイベントに関する特色あるポスターちらしの配付などを通して、保護者や地域の方々などに本校に対する理解を深めていただく。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・保護者対象学校教育自己診断アンケート「PTA 活動の活発さ」の肯定的評価44%以上 [42.6%]</p> <p>・教職員対象学校教育自己診断アンケート「学校の地域等との連携の積極性」の肯定的評価40%以上 [38.0%]</p> <p>(2)</p> <p>・校長ブログの更新 50 回以上の維持 [55]</p> <p>・学校説明会アンケートでの生徒活躍項目の肯定値50%以上 [一]</p> <p>・保護者対象学校教育自己診断アンケート「教育情報提供」の肯定的評価66%以上 [65.4%]</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・保護者対象学校教育自己診断アンケート「PTA 活動の活発さ」の肯定的評価は45.6%で目標を達成した。社会見学会の復活などが評価されたと思われる。(○)</p> <p>・教職員対象学校教育自己診断アンケート「学校の地域等との連携の積極性」の肯定的評価は上昇したが39.1%にとどまった。地域連携についてもコロナ禍以前以後の洗い出しを行ったので、今後積極的に交流を図っていきたい。(△)</p> <p>(2)</p> <p>・校長ブログの更新は50回となり目標値を達成できた。(○)</p> <p>・学校説明会アンケートでの生徒活躍項目については、コロナ禍により今年度も設けなかったため、次年度以降の課題とした。(△)</p> <p>・保護者対象学校教育自己診断アンケート「教育情報提供」の肯定的評価は64%だった。HP の内容更新の頻度等をあげることにより、保護者の期待に応えるようにしたい。(△)</p>